

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス ひーと海田駅前教室		
○保護者評価実施期間	2025年 11月 25日		～ 2025年 12月 15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	26人	(回答者数) 22人
○従業者評価実施期間	2025年 12月 10日		～ 2025年 12月 25日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8人	(回答者数) 7人
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 12月 29日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用児童にとって広いスペースを確保できている。	かぼんを収める部屋、学習する部屋、遊ぶ部屋、クールダウンする部屋といったように利用者にとってわかりやすい環境整備を行っている。	一人ひとりの特性を考慮して、集団で過ごす時間や個別で過ごす時間を設け、ニーズに沿った支援に繋げていく。
2	わかりやすいサービス計画の立案と実施。	利用者一人ひとりの特性を考慮し、子ども自身が見てわかる計画書を作成している。保護者に計画内容を伝えるだけでなく、子ども自身にもびーとに通所している目的を伝えている。	専門職の知識や経験をより一層取り入れ、利用者自身が「やってみよう」と思える計画を作り実施していく。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者同士の交流する機会や兄弟向けのイベントを行えていない。	開所して間もないということで保護者会の実施を行っていなかった。	2月に保護者会を計画しており、ご家族で参加してもらえるよう早めに連絡を行う。また、定期的な開催を行い、保護者間だけでなく、支援員との交流にもつなげていく。
2	避難訓練や災害時の対応について十分な周知がなされていない。	契約時に避難訓練や災害時の対応について説明を行っているが、実施した時の保護者への周知が行われていなかった。また、その日の利用児童しか訓練に参加できていなかった。	研修や避難訓練についてはSNS・LINE等のオンラインや通信を活用し、全体的な周知を行っていく。また、頻度を上げて訓練を実施していく。
3	対応する支援員によって保護者に与える安心感が違う。	保護者様の立場に立って話をするという基本的な部分を周知しきれていなかった。	定期的なミーティングやスタッフ間のコミュニケーションを見直し、勉強会の開催や事例検討を行う中で一人ひとりが意識を高く持てるような場面を設けていき、支援員の質の向上へと繋げていく。